

# しずおか産直！ おいしいもののパネル展

2024年9月7日(土)～9月21日(日) ※葵生涯学習センターのみ9月22日まで

会場：静岡市生涯学習センター 来場者数：435人

静岡市の地場産品とその魅力について、クイズなどを交えて伝えるパネルを展示する作品展。  
静岡のイラストレーターを起用して制作した。

主催：静岡市生涯学習センター(葵、北部、薬科、大里、美和)



## 新たな可能性を感じた 独創性に富んだパネル展

9月7日～21日に静岡市生涯学習センターの5施設で、「しずおか産直！おいしいものパネル展」が開催されました。このパネル展は「こどもの郷土愛の醸成」をコンセプトに、静岡市の地域食材が持つさまざまな魅力を紹介したもので、複数の生涯学習センターが協働した意欲的な取組みでした。施設ごとに、講座などでゆかりのある野菜や果物などをテーマとし、その歴史や生産、品種の多さ、味わい方などをイラストレーターとコラボレーションして10枚のパネルに凝縮。親しみやすく、独創性に富んだパネルが会場を彩りました。パネルに関連したクイズやスタンプラリー、こどもたちによる「静岡の“おいしいもの” 絵画展」もパネル展を盛り立てました。

北部会場は紅茶をテーマに梅ヶ島発・チャイシロップの誕生秘話などを紹介。美和会場では静岡生まれの苺の品種紹介や生産者のインタビューなど、地域性に富んだ内容となりました。大里、薬科会場では、それぞれお茶をテーマとし、大里会場では静岡の輸出茶の歴史や偉人などを、薬科会場では静岡茶のはじまりや生産などを紹介しました。

筆者が訪れた葵会場のテーマはみかん。パネルに近づくと、徳川家康に見立てたオリジナルキャラクター「みかん將軍」が目飛び込んできました。パネルは主にクイズ形式の構成。みかんの豆知識や生産の歴史、温暖化との関係などを出題し、「みかん將軍」がナビゲーターとなって盛り立てました。驚いたのは、紙で答えを隠し、めくれる仕様になっていたこと！わくわく、ドキドキしながらめくる動作は、こどもの心をつかむだろうと感心しました。

パネルを制作したのはイラストレーターでデザイナーの澤野真依子さん。こどもたちに楽しく見てもらえることを第一に考えたそうです。「パネルを並べただけでは心は動かない。体験できる参加型のパネルにしたら、最後まで楽しんでもらえるかなと考えた時に、クイズや『めくり』のアイデアを思いつきました」とのこと。「みかん將軍」も澤野さんのアイデアで、「今までキャラクターを何回か作ってきた実績があったので、私に依頼してくれたことの意義を感じてもらえたら」と、施設の期待に応えようという熱意が伝わってきました。

生涯学習センター×地域食材×生産者×イラストレーター、5施設の連携など、さまざまな掛け合わせによって、「静岡のおいしいもの」をさらに味わい深く紹介した意欲的なパネル展。職員が足で稼いだ情報も盛り込まれた希少性の高い内容でした。今回制作したパネルは、講座の教材、巡回展など、今後の利活用の可能性も感じさせます。未来のこどもたちにも伝えたいパネル展でした。

ライター：天野のリコ

